

2020 年度

健康科学大学

【看護学部】

指定校制推薦入試

【健康科学部】

自己推薦入試 I 期

2019 年 10 月 26 日

2020 年度健康科学大学入学試験  
小論文試験問題（指定校制推薦・自己推薦 I 期）

次の文章を読み、あとの問いについて別紙解答用紙に記述しなさい。

一九一六年が明けてまもなく、アルベルト・アインシュタインは、その人生で最大の仕事を完成させた。十年という長い時間をかけて、新しい重力理論を導こうと知恵を①シボリ続けたすえに出来上がったその理論を、彼は a 一般相対性理論 と呼んだ。それは重力の新理論であるにとどまらず、空間と時間についての新理論でもあった。またそれは、宇宙の中で物体が行う運動を説明できるばかりか、宇宙そのものの進化さえも記述することのできる、初めての科学理論でもあったのである。

ところが、ひとつ困ったことがあった。アインシュタインが全体としての宇宙を記述するためにその理論を使おうとしたところ、その理論が記述する宇宙は、われわれの住むこの宇宙ではないらしいことがわかったのである。

それからおよそ百年、ひとりの人間が生まれてから死ぬまでぐらいのあいだに、われわれの宇宙観が b 被った 変化の大きさをたると、ほとんど想像を絶するほどである。一九一七年の時点では、科学者たちの知るかぎりにおいて、宇宙は永遠にして②フヘンだった。そしてその宇宙には、われわれの「c 天の川」銀河ただひとつしか存在せず、周囲には何もない暗黒の空間がどこまでも広がっていると考えられていたのである。それは、d 肉眼 か小さな望遠鏡で夜空を見上げたときに、③ソボクに想像する宇宙の姿にほかならない。しかし当時は、その宇宙像を疑う理由はほとんどなかったのである。

アインシュタインの理論でも、④ジュウライ のニュートン理論と同様、重力はすべての物体同士のあいだで、つねに⑤インリョク として作用する。そのため、空間に散らばっている質量は、いつまでもその場に静止していることはできない。質量同士が重力で引っ張り合うために、いずれはすべての質量が一カ所に寄り集まってしまうのだ。そんな宇宙は、星たちがじっと静止しているように見える現実の宇宙とは、一見して e 矛盾 していた。

（ローレンス・クラウス 著、青木 薫 訳、宇宙が始まる前には何があったのか？、文藝春秋 2013年）

2020 年度健康科学大学入学試験  
小論文解答用紙（指定校制推薦・自己推薦 I 期）

受験番号 \_\_\_\_\_ 氏名 \_\_\_\_\_

問 1. 本文中の二重下線部①～⑤のカタカナを漢字で記しなさい。

① シボリ ( ) り

② フヘン ( )

③ ソボク ( )

④ ジュウライ ( )

⑤ インリョク ( )

問 2. 本文中の波線部 a～e の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

a 一般相対性理論 ( )

b 被った ( ) った

c 天の川 ( の )

d 肉眼 ( )

e 矛盾 ( )



## 解答例

問 1. 本文中の二重下線部①～⑤のカタカナを漢字で記しなさい。(1問3点)

① シボリ ( 絞 ) り

② フヘン ( 不変 )

③ ソボク ( 素朴 )

④ ジュウライ ( 従来 )

⑤ インリョク ( 引力 )

問 2. 本文中の波線部 a～e の漢字の読みをひらがなで書きなさい。(1問3点)

a 一般相対性理論 ( いっぱんそうたいせいりろん )

b 被った ( こうむ ) った

c 天の川 ( あま の がわ )

d 肉眼 ( にくがん )

e 矛盾 ( むじゅん )

問3. これまで当たり前だと思われていたことに対して、他の見え方もある事例を挙げて、あなたの考えを500字以内で記しなさい。

**1. 文字数 (10点満点)**

450字以上	10点
450字未満	5点
300字未満	0点

**2. 誤字脱字 (10点満点)**

同じ文字の誤字脱字については1回のみ減点

1か所まで	10点
3か所まで	5点
4か所以上	0点

**3. 文章構成 (20点満点)**

話し言葉、「ですます・である」調の混在、段落分け、適切な句読点、ひらがなの多用 等

優れている	20点
やや優れている	15点
普通	10点
やや劣る	5点
劣る	0点

**4. 論旨 (30点満点)**

論旨の展開に一貫性がある、独創性や一般論等を踏まえている、事例を挙げている 等

優れている	30点
やや優れている	25点
普通	20点
やや劣る	10点
劣る	5点